

## 北松中央病院第6期中期計画の認可ほかに係る意見聴取の議事要旨

【日 時】 令和2年2月6日（木）18:30～20:10

【場 所】 佐世保市中央保健福祉センター6階 研修室1

【出席者】 委員6名（※安部委員、尾崎委員は欠席）

（事務局等） 塚元保健福祉部長、辻保健福祉部次長、兼医療政策課長、井原医療政策課主幹、久地浦主査

（佐世保市総合医療センター） 田中事務部長、小村事務部次長、森山総務課係長  
（北松中央病院） 東山理事長、田中事務部長、富本経理課長

### ■佐世保市総合医療センター役員報酬等規程の一部改正に係る意見について

#### ◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

- 人事院勧告に基づく給与改定とされているようだが、民間の給与と比較して職員の給与は高いのか。（武部委員）

→ 民間との比較しづらい、病院間も本給と手当等の違いもあり、一概にどれくらいの差額があるかというのとは分からない。国立病院機構との比較では、看護師でいえば初任給に3万円程度開きがあった（当院が低かった）が、30年度からは是正しており、現在の看護師の給与については国立病院機構と遜色のない状況である。事務職等は、民間とは比較が困難な状況である。法人から移行した時の条件が、現行の公務員の給与水準を維持するということが協定上結ばれていた。このことからそのまま現在に至っている。市内の民間病院と比較するとしてもなかなか状況が掴みづらいところがあり、情報としてはない状況である。（医療センター 小村次長）

- 質問以外に意見はないか。

→ 特になし

- それでは本案件については、意見無しということで決定したい。（木村委員長）

### ■北松中央病院第6期中期計画の認可に係る意見について

#### ◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

- 一番大事なことは佐世保市北部地域の救急医療が一番問題であろうと思う。それにはスタッフの充実が必要なので、内科だけではなく外科などを充実して救急医療が行える体制を維持していただきたい。（横山委員）

→ この3年間で整形外科が来れるかどうかは不明である。今、奨学金を借りている研修医（1年目）が2人いるが、整形外科でという研修医がいるものの、研修が終わるころにはまた考えが変わることもあるので、何とも言えないというのが現実である。ただそれ以降にも全部で6名の方に奨学金を貸していることから、整形外科をお願いすることもあるとは思うが、専門医の取り方が変わっていることなどから流動的である。（北松中央病院 東山理事長）

- 医師の事務作業補助者（診療情報管理士など）など雇用されていると思うが、そうした多職種で協力してフォローしていくという体制が大事になってくると思われる。（船津委員）

●看護師の補充はよくできているようだが。(武部委員)

→ 看護実習生の受け入れのときに常勤の看護師がよく教えているようなので、学生には受けが良いようである。数人がやめても、数人が新たに就職するといった状況である。やめた看護師もわりとすぐ戻ってくる状況である。(北松中央病院 東山理事長)

●修学制度を用いて医師を確保するのはよいことと思うが、実際に救急医療の現場などで活躍できるまでにはどれくらいの期間が必要か。(宮地委員)

→ 免許的にはすぐできるが、能力的には症例はある程度こなさないとできない。個々の能力にもよるが、3年くらい(研修が終わって1年後)の経験があれば、ある程度はできるようになるのではないか。診療中にもし手におえない点があれば、テレビ電話で先輩医師につながるようになっていく。また血液検査と画像診断がすぐできるというのが、うちの利点である。(北松中央病院 東山理事長)

●計画にもあるように北松中央病院は特に地域の救急医療において重要な役割を担っている。働き方改革もあり医師の確保の面からは大変だとは思いますが、しっかり頑張っていたきたい。(木村委員長)

●収支計画の臨時損失は何を想定しているのか。また、目的積立金の取り崩しの内容についておたずねしたい。(宮地委員)

→ 臨時損失は減価償却の除却損を毎年見込んでいく。目的積立金の取り崩しは、起債償還利息の総額の1/2を取り崩して収益化するものである。(北松中央病院 富本課長)

●3年間の純利益の6千万円は、北松中央病院としては少ないと感じるが。(宮地委員)

→ 来年度が退職引当金の率が上昇することから、人件費がかさみ利益幅が縮小する。(北松中央病院 富本課長)

●医療機器の更新に3.4億円の計画を立てられているようであるが、こういったものを想定しているのか。(宮地委員)

→ 一番大きいのは1.5億円で心血管造影装置の更新を予定している。残りは小規模な固定資産の更新である。(北松中央病院 富本課長)

●今期は4.7億円とちょっと金額が多かったようで、MRIとかの更新であったと記憶しているが。(宮地委員)

→ MRIのほかにも貯水槽0.6億円を更新したことで高額となっている。(北松中央病院 富本課長)

●結構高額な投資なので、有効に活用していただきたい(宮地委員)

●収益の確保の項目に「病棟の再編」とあるがどういうことか(武部委員)

→ 基本的には、診療報酬改定が2年に1回あるので、その状況を見ながら病棟の再編についても検討していきたいと考えている。現在、地域包括ケア病床を15床抱えているが、地域医療構想の中では回復期が足りないということもあり、そうしたことからこうした病床を増床することもないことないため計画に記載している。地域に必要なとされない病床はいらぬのが、どこまで「地域包括ケア病床」が必要なのかがなかなか見えてこない。今度の改定ではその「地域包括ケア病床」に急性期の患者も入れなければならなくなる。そうした動きもみながら計画期間中は必要に応じて再編の検討をしていきたい。収益の確保といった観点からもそうした状況を見ながら対応していきたいと考えている。(北松中央病院 東山理事長)

- 回復期リハについて、以前は取り組むとした話を聞いたことがあるが、今後は取り組まないのか。(武部委員)
  - 回復期リハについては、一時期考えていたが医師の専従が必要なため実施する予定はない。(北松中央病院 東山理事長)
- ほかに意見がなければ中期計画の修正等の意見はないということでまとめてよいか。(木村委員長)
  - よい(各委員)
- それでは中期計画の修正等の意見はないということで市へ提出させていただきたい。(木村委員長)

以 上